

ASEAN 共同体初の域内共通教育課程開発を支援

国立大学法人筑波大学 人間系 磯田正美教授らは、東南アジア教育大臣機構・理数教育センター(SEAMEO-RECSAM, Southeast Asia Ministers of Education Organization –Regional Center for Education in Science and Mathematics Education)との共同研究により、「ASEAN教育課程参照基準:数学・理科」(6-15歳対象)を開発しました。

研究の背景と成果

東南アジア諸国連合ASEANは、ヨーロッパ連合EU同様の経済発展をめざして、2015年、ASEAN共同体となりました。経済発展の実現には国境を越えた高質人材の確保が不可欠であり、そのためには、優れた資質・能力を備えた人材育成、域内教育格差解消、高等教育の前提となる初等・中等教育の改善、教員の資質向上等が求められます。そこで、ASEANの教育諸政策を立案するSEAMEO(東南アジア教育大臣機構)は2014年、「21世紀型高質教育を実現する教育課程域内参照基準の研究開発」を最優先課題の一つに定め、数学・理科教育課程基準の開発を開始しました。

これにあたり、筑波大学が国内唯一のSEAMEOとの提携機関であることから、本学教育開発国際協力研究センター(CRICED, Center for Research on International Cooperation in Educational Development)は、ASEAN域外の研究者も含む共同研究を主導してきました。3年の開発期間を経て、2017年7月、「ASEAN教育課程参照基準:数学・理科(SEAMEO-Basic Education Standards: Common Core Regional Learning Standards in Mathematics and Science)」の草稿がASEAN教育大臣会合で承認され、2018年5月に出版となりました。

宗教や文化的多様性、経済・教育格差の著しい国々からなるASEANにおいて、義務教育(1-9年生、6-15歳)段階における域内共通の教育課程参照基準の開発は、本研究が初めてであり、教育課程のボーダーレス化に向けた国際的な流れへの対応を先導するものです。

今後も、筑波大学教育開発国際協力研究センターでは、本教育課程を解説する教師向け参考図書の開発等、ASEAN諸国の教育発展に取り組む予定です。

問い合わせ先

磯田 正美(イソダ マサミ)

筑波大学 人間系 教授/教育開発国際協力研究センター長

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

E-mail: isoda@criced.tsukuba.ac.jp

